

愛知県合唱連盟 創立60周年記念演奏会



指揮
川瀬賢太郎
KAWASE Kentaro

◆1984年東京生まれ。私立八王子高等学校芸術コースを経て、2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。これまでに指揮を広上淳一など各氏に師事。2006年10月東京国際音楽コンクール<指揮>において2位(最高位)に入賞。◆2011年4月、名古屋フィルハーモニー交響楽団指揮者に、2014年4月、神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者に就任。卓越したプログラミングを躍動感あふれる演奏で聴衆に届けている。◆オペラにおいても、細川俊夫「班女」、モーツァルト「フィガロの結婚」、ヴェルディ「アイダ」などを指揮、目覚ましい活躍を遂げている。◆現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団正指揮者、神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢常任客演指揮者、三重県いなべ市親善大使。2016年第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回出光音楽賞を受賞。東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)特任講師。



ソプラノ
金原聡子
KINBARA Satoko

◆愛知県立旭丘高校卒業、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程修了。明治安田クオリティープライライフ文化財団の助成を受けて、またその後、文化庁新進芸術家海外研修生としてボストンに留学。ロンジー音楽院オペラ科を修了。◆日伊コンクール第二位。藤沢オペラコンクール奨励賞。ニューヨーク・キャリアブリッジアワードコンペティションファイナリスト。名古屋ペンクラブ賞受賞。名古屋名駅ロータリークラブ第20回椿賞受賞。◆愛知教育大学准教授。愛知ロシア音楽研究会会員。東京二期会



メゾソプラノ
三輪陽子
MIWA Yoko

◆愛知県立芸術大学卒業。同大学院修了。◆第5回国際ワグナー歌唱コンクール派遣対象者 国内オーディション最優秀賞と特別賞を受賞。2008年文化庁新進芸術家海外研修制度にてイタリア及びオーストリアに留学。これまでに新国立劇場、神奈川県民ホール、びわ湖ホール等全国各地の劇場で数多くの役を演じ、いずれも好評を博している。またコンサートにおいても宗教曲や「第九」「大地の歌」交響曲のソリストとして出演。



管弦楽
名古屋フィルハーモニー交響楽団
Nagoya Philharmonic Orchestra

◆日本有数のオーケストラの一つとして、愛知県名古屋市を中心に東海地方の音楽界をリードし続けている。その革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信し、「名(めい)フィル」の愛称で地元では親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。◆現在の指揮者陣には、小泉和裕(音楽監督)、川瀬賢太郎(正指揮者)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)が名を連ねている。また、2020年4月には坂田直樹が第3代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。◆楽団創立は1966年7月。2021年には創立55周年を迎え、意欲的なプログラミングの「定期演奏会」をはじめ、親しみやすい「市民会館名曲シリーズ」、障がいのある方を対象とした「福祉コンサート」、市内の学校を訪問する「名古屋市内移動音楽鑑賞教室」など、バラエティに富んだ年間約110回の演奏会に出演している。



テノール
大久保亮
OKUBO Ryo

◆愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学大学院首席修了。◆ワグナー 楽劇「神々の黄昏」ジークフリート役をはじめ様々なオペラに出演の他、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「クリスマスオラトリオ」エヴァンゲリストをつとめるなど、宗教曲ソリストとして数々のコンサートに出演。リサイタルも定期的におこなひ、シューベルト3大歌曲集を演奏している。



バリトン
近野賢一
KONNO Kenichi

◆京都市立芸術大学大学院修了。フライブルク音楽大学、ミュンヘン音楽大学修了。◆「オール・マーラーリサイタル(2019)」、「オール・シューマンリサイタル(2016)」を行うなど、リート作品を意欲的に取り上げている他、バッハの受難曲をはじめとするオラトリオソリストとしても活躍している。青山音楽賞新人賞受賞。◆2018年1stCD『美しい五月に〜シューマン歌曲集』をリリース(レコード芸術誌準推薦盤)。◆現在、岐阜大学准教授、名古屋音楽大学講師。

合唱
愛知県合唱連盟
Aichi Choral Association

◆愛知県合唱連盟は、1961年の創立以来60年を経て、5,000人の中学、高校、大学、職場、一般の部門からなる合唱団及び個人会員から構成されている。全国的に質・量ともに優れた連盟との評価を受けており、コンクール等で優れた演奏をする団体が多く所属している。毎年、アンサンブルコンテスト、合唱祭、合唱コンクール、講習会などを主催・運営しており、名古屋フィルハーモニー交響楽団の「第九」演奏会では40年以上に渡って合唱パートを引き受けている。全日本合唱連盟の傘下であり、創立以来、朝日新聞社の大きな協力を得て、今日に至っている。

新型コロナウイルス感染症対策

- 会場スタッフは全員マスクを着用いたします。
- 合唱団員は全員マスク着用の上、ステージ上P席及び客席にて互いに距離をとって演奏します。
- 飲食物の販売は休止いたします。

お客様へのお願い

- 会場内では常時マスクの着用をお願いします。
- クロークは閉鎖いたします。大きな荷物の持ち込みはご遠慮下さい。
- 開場前およびホワイエなどでは、社会的距離を確保される様をお願いします。
- 入場時の検温、手指消毒にご協力下さい。なお入場にお時間がかかることが予想されるため、余裕

をもってお越しください。

- チケット半券にご来場される方のお名前、電話番号をご記入下さい(会場において感染の疑いがある方が発生した場合、所轄の保健所へ個人情報を提供する場合がございます)。
- 会場内での会話は極力お控えいただき、終演後の「ブラボー」などの掛声はご遠慮ください。
- 出演者への差し入れや贈り物、面会はご遠慮ください。
- 終演後の混雑緩和のため、退館時の誘導にご協力下さい。